

## 平成4年度～12年度に入学された卒業生の皆様へ

1級建築士受験資格の件について平成18年7月26日付で、以下のお知らせとお詫びを学科ホームページに掲載いたしました。

平成4年度から平成12年度に入学した方の学生便覧に卒業後の取得可能な資格として「卒業生は、2年以上の建築に関する実務経験を有すれば、1級建築士の試験を受験できる」とありますが、これは間違いで、平成4年度から平成12年度に入学の卒業生には受験資格はありません。

これは、平成4年度に土木工学科が「土木環境工学科」に改組したときに受験資格校の認定申請をしておらず、また平成4年度以降のカリキュラムには、受験資格申請に必要な製図に関する科目がないので、現在申請しても認められないためです。

標記の入学年度の卒業生の皆様に対して、学科として心よりお詫び申し上げます。

なお、このことについては、現在、対応策を検討していますので、今後1級建築士を受験される方は、必ず下記(省略)へご相談くださるようお願いいたします。

その後、国土交通省と解決策について相談を行ってきました。しかし、「一戸住宅の設計」、「集合住宅の設計」、「特殊建築物(美術館等)の設計」の建築設計3科目が必修科目として開講されなければならないことが分かりました。これを受けて、本学科は一級建築士受験資格を取得することを断念いたしました。その理由は以下の通りです。

- ①本学科は、土木および土木関連分野のJABEE認定を他大学に先駆けて得ています。世界に通用し、かつ卒業後は技術士補を得られるようなカリキュラムで土木環境工学技術者の育成を行っています。建築設計3科目を必修科目として本学科のカリキュラムに加えることは、学科の教育目的を変えることとなります。土木環境工学技術者の育成に建築技術者の育成を付加することが必要となります。一級建築取受験資格取得のためだけでもって、本学科の教育方針を変えることは出来ません。本学科はJABEEの土木および土木関連分野の教育体制を引き続き行ってゆく方針です。
- ②建築設計3科目の外に「建築法規」と「建築積算」の科目を選択科目として開講することも必要です。この2科目と必修科目の建築設計3科目を現在のJABEEカリキュラムに上乘せすれば、卒業のために取得すべき総単位数が現在よりも増えることとなります。土木環境の分野を目指す多くの学生にこの単位増を強いることはできません。

以上のように、皆様方は一級建築士の受験資格をえることができなくなりました。ここに、そのお知らせとともに三たび、お詫び申し上げます次第です。

2007年4月17日

宮崎大学土木環境工学科

学科長 杉尾 哲